

多高通信

第103号 平成26年2月26日発行

もしも君が、社の塾で天文学者になったら…

今年で3回目となる、東北大学天文学教室と仙台市天文台が共同運営する、高校生のための本格的な天文学者職業体験プログラム「もしも天」に、2年生の鈴木伶和くんが参加しました。

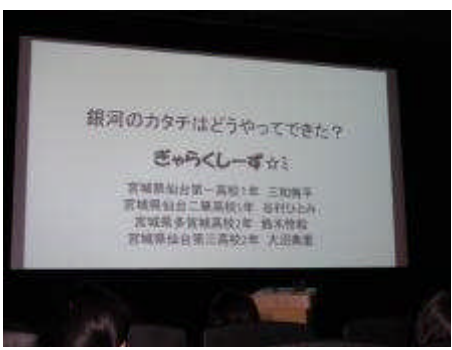
■鈴木 伶和（2年5組）

私が今回参加した「もしも天」では、全国の高校生が仙台に滞在し、本格的な天文学者体験実習を行いました。昨年末の12月22日から6泊7日で、最終日は研究の成果を仙台メディアテークで発表しました。

私たちの班は、さまざまなタイプの銀河の形を仙台市天文台にある、ひとみ望遠鏡を使わせていただいで観測しました。観測結果を分析し、銀河のタイプの違いがなぜ生じたのか研究しました。

私は今回の「もしも天」とおして、英語の重要性に気がきました。理系の大学に進学した場合、英語で書かれた論文を読むのは当たり前だと東北大学の大学院生の方に教えていただきました。実際、今回の銀河の分析のときにも数多くの英語の論文を読みました。また、たくさんの方々との出会うことができ、人生のなかで一度きりの高校生活、高校生だからできることがたくさんあるし、一生忘れられない体験もあると実感しました。

最後に、私が「もしも天」に参加するにあたって支えてくださった永沼先生をはじめ、たくさんの方の先生方に感謝しています。ありがとうございました。



東北高等学校放送コンテスト

■熊谷 笑（2年3組）

私たち放送部は、2月8日～9日にかけて、日立シテムズホール仙台で行われた「東北高等学校放送コンテスト宮城大会」に出場しました。1日目に行われた準決勝では、それぞれの県大会を勝ち抜いた各部門の38作品が発表されました。私たちの制作した作品は、惜しくも翌日の決勝大会に進む10作品に入ることには出来ませんでした。各県の作品を直接視聴することができ、今後の番組作りの参考にすることができました。

今大会の結果を参考に、次の大会では全国大会に進めるような作品を制作できるよう、さらに頑張りたいと思います。作品制作に協力していただいた方々、貴重なご意見をくださった方々、本当にありがとうございました。

求む STAFF

放送部では
私たちと一緒に活動する
仲間を募集しています



高校生バンドバトル 優勝!!

1月26日に高校1年生を対象に開催された大会で、ギター部のエンパイン@が優勝しました!

■矢田目紗希（1年5組）

今回のライブでは出番が最後だったので、すごく緊張しました。しかし、会場にいらっしやった方々のおかげでも楽しいライブになりました。これからも練習に励みたいと思います。

■阿部 愛美（1年1組）

応援して下さったみなさん、本当にありがとうございます。まだまだ未熟な部分もありますが、これから応援してください!

■氏家妃奈子（1年4組）

会場にいるみなさんのおかげで楽しく演奏することができました。これからは技術の向上を目指して頑張ります。

■佐藤 晴（1年6組）

今回のライブで得たことを今後のライブに生かし、ライブをより楽しめるようになりたいです。私たちも含め、多高ギター部をよろしくお願いします。



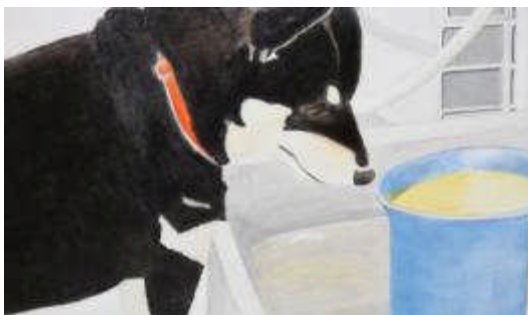
県高校美術展に展示されました

■阿部 克俊（1年2組）

今回の県展に向け、我が家で飼っている犬を描きました。いかに犬の毛の感じを出すか、いかに遠近感を出すかに力を入れました。今回、入選とはなりませんでした。描いていて初めて気付くこともあり、楽しかったです。

■平山 瑞希（1年2組）

私は今回の作品を制作するにあたってどのような題材にするか考えていた時、ふとヤドカリの話思い出しました。人間が捨てたゴミにヤドカリが住んでいるという話です。このことをもっと多くの人に知ってほしいと思い、環境をテーマに描きました。



東北大学のワークショップ

「みんなの防災手帳」を制作している東北大学と多高生が東日本大震災で経験した大変だったこと、苦労したことについて話し合いました。

■吉田 彩乃（3年2組）

今回のワークショップでは、震災当時、中学校3年生だった私たちだけではなく、あの時の先輩の気持ちや行動も知ることができた貴重な体験でした。改めて震災時の行動を振り返ることで、地域とつながりの大切さを再確認することができました。卒業前に今回のような機会をいただき、自分の中で震災のことを風化させないきっかけにもなりました。

■菅原 健太（3年6組）

今回のワークショップで、震災について改めて深く考えることができました。今になって振り返ってみると、家族や友達との協力や地域の方々とのつながりなど、震災をとおしてとても大切なことを学ぶことができたと思います。また、他のグループの発表を聞くことで、自分の考えをより深めることもでき、とても良い経験になりました。

■野本優一朗（3年4組）

私は、3年前に起きた東日本大震災を経験したものの、あの当時は毎日必死で、自分がどのように震災を乗り越えたのか忘れてしまいました。今回のワークショップで家族の大切さや友達の重要さを思い出すことができました。

震災を経験したからこそ得られたことがたくさんあったので、これからの大学生活や社会に出てからもいろいろな場面で生かしていきたいと思っています。

